

高温気象で葉色淡い！ 出穂前追肥を検討し、飽水管理を徹底！

- ・ 連日の高温で、2回目の穂肥後でも、葉色が低下しているほ場がみられます。
- ・ コシヒカ리의出穂期は8月6日頃(平年差1日早い)の見込みです。
- ・ 気象庁では、8月上旬ごろに気温がかなり高いと予報しています。

1 7月31日現在のコシヒカリ生育状況 (拠点9地点平均、移植日平均5月9日)

葉色：淡い (一部で急激な葉色低下がみられる)

区 分		本 年 値	目 標 差	前 年 差
葉 色	SPAD	30.2	-2.8	+0.5
	葉色板	3.1	-0.7	-0.1

2 コシヒカリの管理ポイント

高温が続き、栄養不足の状態に登熟すると、未熟粒が多く発生します。ただちに葉色を確認し、出穂前の栄養確保に努めましょう。

(1) 一発肥料の場合：葉色低下で追肥を実施

葉色が低下しているほ場で、まだ追肥を実施していない場合は「出穂期の10日から5日前」に追肥を実施する(葉色の目安はカラスケール3.3以下、SPAD値30以下)。

(2) 分施肥体系の場合：3回目の穂肥を検討

2回目の穂肥後も葉色が低い場合は、出穂期3日前までに3回目の穂肥を検討する。(葉色の目安は上記一発肥料と同様)

3 水管理

- ・ 出穂期から25日間は飽水管理等を継続し、かけ流し管理などは絶対に行わない。
- ・ 異常高温や強風・フェーンとなる場合は一時的に湛水する。ただし、高温条件での長期湛水は根腐れにつながるので、フェーン等が収まったら早めに飽水管理等に移行する。

8月も気温が高い日が続く見込みです。草刈りや穂肥施用など屋外での農作業は、気温の高い時間帯を避け、水分補給や休憩時間を十分に確保するなどの熱中症予防と健康管理に十分注意してください。